

# びすけっと

埼玉県立小児医療センター

血液・腫瘍科

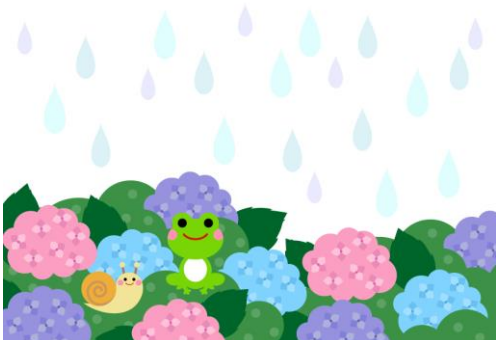
234号—2022年6月—

親の会 びすけっと

もっとみなさんにつながれるように…

Instagram始めました！

[https://www.instagram.com/biscuit\\_oyanokai/](https://www.instagram.com/biscuit_oyanokai/)



## 第1回患者・家族セミナー「家庭でできるリハビリテーション」

1月28日(金)、埼玉県立小児医療センター地域連携・相談支援センター主催により、白子淑江さん(理学療法士)、島崎貴子さん(作業療法士)を講師に標記のセミナーがオンライン開催されました。

島崎さんからは長期入院が子どもの発達に及ぼす影響、子どもの成長・発達に遊びが必要であること、家庭で普段の生活の中でできる遊びについてお話がありました。子どもにとっては遊びがリハビリになること、遊びによって必要な運動経験ができたり、運動そのものや情緒的なことなど遊びの中で生きていく力を身につけたり、人としても成長できるそうです。具体的な例として、バスのうたの遊びや隠したぬいぐるみを探す遊びなどを紹介していただきました。遊びは頭と心を育むということでした。

白子さんからは身体機能のバランスについてお話がありました。闘病により身体活動が制限され、エネルギーを生み出すことと身体を作ることとのバランスが崩れてしまう問題点について説明されました。運動量は「室内歩行・身支度・シャワーを浴びる」→「着替えをする」→「地面を歩行する」の順に多くなり、リハビリでは筋力増強、関節可動域を広げる、歩行、日常生活動作の訓練などを実施しているそうです。入院中も早期に離床して運動量を確保し、人との関わりを持たせることを重視しているということでした。(柳戸)

## AYA Meeting 2022～ここでしか聞けない、話せないAYAの本音～

ゴールドリボン・ネットワークと若年性がん患者団体 STANDO UP!!の共催で、3月12日(土)にオンラインで開催されました。びすけっとは親の会なので親の立場から物事を考えますが、様々なセミナー等に参加していつも思うのは、当事者が自分で生きていく力(必要な支援を受ける力も含め)を育てることの大切さです。その意味から、STAND UP!!は当事者の団体として素晴らしい活動をしています。第一部の座談会は就労とアピアランス(外見)についての本音トークでした。親子のように関係性が近すぎるとかえって本音が言いにくい場合があります。そんな本音を聞くことができるのはとても貴重なことです。対応の仕方はケースバイケースですが、考え方を変えてみる、様々な工夫をするなどでより良い環境を作ることができるのだなと感じました。困ったことがあったら、同じような状況の人と話をしてみるといいのではないかと思います。(柳戸)

ゴールドリボン・ネットワーク

<https://www.goldribbon.jp/>

ゴールドリボン・ネットワーク→

若年性がん患者団体 STUND UP!!

<http://standupdreams.com/>

STAND UP!!→

次回のびすけっとは、7/12(火) 11:00～

相談室B(2F 総合受付奥)

びすけっと連絡先: 代表 柳戸 民子

〒350-2224 鶴ヶ島市町屋112-5

TEL 049-271-4708(留守電)

e-mail [yanagido@t.zag.jp](mailto:yanagido@t.zag.jp)

※びすけっとの参加のためだけに病院に来られた場合、

- ・駐車料金は一般料金になりますので、病院外の駐車場をご利用することをおすすめします。
- ・入館時の健康チェックシートは、外来・面会用ではなく、職員専用通路内にある来客・業者用をご使用ください。

※変更の場合があるため、来る前にインスタやLINEで確認してね。

柳戸LINE、QRコード  
ラインでのご連絡もOK!

